

教員目指す学生 児童と触れ合い

愛教大で催し

刈谷市井ヶ谷町の愛知教育大で十一日、学生らが用意した多彩な企画を小学生が楽しむ「あつまれ！子どもキャンパス」と銘打ったイベントが開かれた。

児童や保護者に大学に親しんでもらうと同時に、同大で教員を目指して学ぶ学生たちが、直接子どもと触れ合う機会を増やそうと二年前に始めた。三回目の今回は、裁縫や乗馬の体験など十種類を準備した。

「大学生とミニ運動会」と題した企画には約二十人の児童が参加。学生が頭の上に掲げた段ボール箱を目がけてボールを投げ入れる玉入れなどがあり、元気に体を動かしていた。

大学を訪れるのは初めてという同市日高小六年の深谷太晴君（こ）は「玉入れが面白かった。大学は楽しそうなところだと思った」と話した。



学生の頭上の段ボール箱を
目がけ、ボールを投げ入れ
る子どもたち＝刈谷市井ヶ
谷町の愛知教育大で